

③ 効果的な融資制度の充実等により中小企業に対する資金の供給の円滑化を図ること

【取組の概要】

県内中小企業者の事業活動の促進及び経営の安定化を図り、本県経済の活性化へつなげていくためには、前向きな取組への資金供給や資金繰り対策などの金融円滑化を図ることが重要である。

このため、以下のとおり資金供給の円滑化に係る各種事業を実施した。

○ 県内中小企業の資金ニーズを的確に捉えた弾力的な運用、新たな資金の創設等の制度 資金の充実

県内金融機関に対し裏付け資金を預託することにより、低利な特別保証融資制度を実施し、前向きな事業活動の支援から災害対応を含めたセーフティネット機能まで幅広い支援を行った。

令和5年度は、県特別保証融資制度「『選ばれる青森』への挑戦資金」の融資対象に、「賃金引上げに資する取組」及び「2024年問題の解決への取組」を新たに加えるとともに、創業や成長分野等を対象とする信用保証料補助を引き続き実施し、県内中小企業の前向きな取組を支援した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業活動に支障を生じている県内中小企業者の資金繰りを支援するため、「経営安定化サポート資金」の「災害枠」に「新型コロナウイルス感染症」を継続指定したほか、同感染症による売上減少等の要件に合致する融資について、信用保証料の30%を補助し、県内中小企業者の負担軽減を行った。

このほか、中小企業構造の高度化を推進する中小企業高度化資金制度を実施した。

【基本方針事業一覧】

No.	事業名	R5事業費 (千円)	R5 新規	担当課等	掲載頁
1	青森県特別保証融資制度貸付金	11,178,500		経済産業政策課	70
2	中小企業高度化資金貸付金(中小企業高度化事業)	0		経済産業政策課	71
3	青森県信用保証協会補助 東北地方太平洋沖地震被災中小企業経営再建特別 対策事業費補助	20,393		経済産業政策課	71
4	創業・成長産業推進金融対策事業費補助	80,416		経済産業政策課	72
5	新型コロナウイルス感染症金融対策事業費補助	4,514		経済産業政策課	72
6	新型コロナウイルス感染症中小企業経営再建特別対 策事業費補助	750,209		経済産業政策課	73
	小計	12,034,032			

【 事業概要 】

県内中小企業者の事業活動の促進及び経営の安定化を図るため、青森県信用保証協会及び県内金融機関との連携のもと、県特別保証融資制度（長期・低利な資金の融資）を実施し、県内中小企業者に対する金融の円滑化に資する。

【 事業実績 】

令和5年度は、DX推進、賃金引上げ及び物流の2024年問題の解決への取組に関する融資メニューを新設したほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける県内中小企業者を対象とした資金を継続するとともに、保証料補助の実施により、県内中小企業者の負担軽減を行った。

項目名	4年度	5年度
「選ばれる青森」への挑戦資金 融資件数・融資額	651件 6,897,486千円	668件 6,548,579千円
経営安定化サポート資金 融資件数・融資額	142件 1,615,900千円	60件 895,500千円
事業活動応援資金 融資件数・融資額	717件 7,676,097千円	668件 7,346,930千円
経営力強化対策資金 融資件数・融資額	10件 113,500千円	-
伴走支援型借換資金 融資件数・融資額	54件 1,105,066千円	425件 9,318,366千円
計	1,574件 17,408,049千円	1,821件 24,109,375千円

(担当課：経済産業政策課 中小企業金融グループ)

【 事業概要 】

県内中小企業者が事業協同組合等を設立して、工場団地、卸団地及びショッピングセンター等を建設する場合に、県が独立行政法人中小企業基盤整備機構から必要資金の一部を借り入れて、県の資金と合わせて、長期かつ低利（無利子）で貸付する。

【 事業実績 】

令和5年度の申込及び貸付決定はなかったが、県内中小企業者からの事前相談に係る相談助言及び事前助言を実施した。

項目名	4年度	5年度
貸付申込件数	0件	0件
貸付決定件数	2件	0件

（担当課：経済産業政策課 中小企業金融グループ）

①青森県信用保証協会補助
②東北地方太平洋沖地震被災中小企業
経営再建特別対策事業費補助

事業費 20,393 千円

（①9,391千円、②11,002千円）

【 事業概要 】

東日本大震災により事業用資産に直接被害を受けた県内中小企業者を金融面から支援するため、県特別保証融資制度「経営安定化サポート資金」の「災害復旧枠」（平成22年度から23年度まで実施）について、保証料全額免除（①）及び無利子（②）とし、これらに要する経費を青森県信用保証協会及び金融機関にそれぞれ補助する。

平成24年度以降はその融資実績に基づき、保証料補助及び利子補助を実施している。（事業終了予定年度：令和8年度）

【 事業実績 】

経営安定化サポート資金「災害復旧枠」の平成22年度及び23年度の融資実績に基づき、令和5年度分の保証料補助及び利子補給を実施した。

項目名	4年度	5年度
保証料補助の補助金交付額	13,132千円	9,391千円
利子補助の補助金交付額	15,323千円	11,002千円

（担当課：経済産業政策課 中小企業金融グループ）

【 事業概要 】

少子高齢化や人口減少等により県内中小企業者が減少し、県経済の縮小が危惧される中、現状を打破していくため、県経済の活性化が期待される分野の取組の加速化に向け、県特別保証融資制度「『選ばれる青森』への挑戦資金」のうち、創業や成長産業分野等に係る取組に対し、信用保証料の30%又は40%を県が補助する。

【 事業実績 】

令和5年度「選ばれる青森」への挑戦資金のうち、創業や成長産業分野等に係る取組について、信用保証料の30%又は40%を県が補助した。

項目名	4年度	5年度
保証料補助の対象となった件数及び補助金交付額	596件 85,906千円	630件 80,416千円

(担当課：経済産業政策課 中小企業金融グループ)

【 事業概要 】

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける県内中小企業者の負担軽減及び経営安定化を図るため、県特別保証融資制度「経営安定化サポート資金」の「災害枠」について、信用保証料の一部を免除し、これに要する経費を県が青森県信用保証協会に補助する。

【 事業実績 】

令和5年度経営安定化サポート資金「災害枠」のうち、「県指定災害」に係る保証債務について、信用保証料の30%を県が補助した。

項目名	4年度	5年度
保証料補助の対象となった件数及び補助金交付額	97件 9,359千円	29件 4,514千円

(担当課：経済産業政策課 中小企業金融グループ)

【 事業概要 】

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける県内中小企業者の負担軽減及び経営安定化を図るため、県特別保証融資制度「経営安定化サポート資金」の「災害枠」のうち、「新型コロナウイルス感染症対応資金」及び「青森県新型コロナウイルス感染症特別対策資金」（令和2年度から3年度まで実施）について、借入後3年間無利子とし、これに要する経費を県が金融機関に補助する。

令和3年度以降は融資実績に基づき、利子補給を実施している。（事業終了予定年度：令和6年度）

【 事業実績 】

経営安定化サポート資金「災害枠」のうち、「新型コロナウイルス感染症対応資金」及び「青森県新型コロナウイルス感染症特別対策資金」の令和2年度及び3年度の融資実績に基づき、令和5年度分の利子補給を実施した。

項目名	4年度	5年度
利子補給の対象となった件数及び補助金 交付額	8,365件 1,170,090千円	8,365件 750,209千円

（担当課：経済産業政策課 中小企業金融グループ）

令和5年度に実施した中小企業振興施策を活用した事例紹介

(青森県特別保証融資制度貸付金：(株) Hello Andy (弘前市))

「『選ばれる青森』への挑戦資金」により こだわりの眼鏡店の創業を支援

【企業概要】

株式会社Hello Andy (ハロー アンディ) (本社：弘前市) は、弘前公園近隣の商店街通りにて眼鏡小売店 (Hello Andy!!) を創業した。店主の木村崇氏は、眼鏡店の店長として県内外にて長年勤務した経験と知識を活かし、地元である青森県内にて独立開業。和菓子店の跡地を利用した店舗は、懐かしい雰囲気と現代的な要素を感じるレトロモダンのインテリアとなっており、県内では取扱いのない国内外ブランドの眼鏡・レンズ・フレームを取り入れ (店主こだわりの仕入れ)、顧客満足度を重要視した営業方針により他店との差別化を図っている。

眼鏡はファッションの一部ということで、洋服を選ぶように顧客それぞれの持つ個性やこだわり等に応じた“眼鏡を選ぶ楽しさ”の提供に加え、「眼鏡の話より趣味の話をする方が多いかも」と店主が冗談交じりに話す等、ユーモアがあるところも同社の強みの一つとなっている。確かな商品と楽しさを提供し、自身も楽しみながら経営したいとの経営方針の下、売上は当初計画どおり順調に推移しており、今後のさらなる成長・発展が期待される。

【経緯と県事業による支援】

創業者の木村氏は、札幌や盛岡の大手眼鏡店の店長を務め、経験と年齢を重ねるにつれ、仕事面と生活面の基盤のズレを感じてきたことに加え、自信のある商品・サービスを地元である青森県に還元したいと考えるようになり、Uターンによる創業を決意した。地域創業相談窓口を利用する中で、「『選ばれる青森』への挑戦資金」を活用し、店舗内装・什器備品・運転資金の資金調達を計画。本制度の活用による創業費用 (金利・保証料等) の軽減メリットにより、創業時の資金繰りの不安が払拭されたと感じている。

<店舗の様子>

